

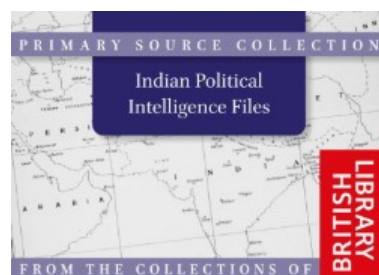
■ 英領インド最後の 50 年を描く諜報文書アーカイブ

インドの政治諜報ファイル 1912~1950 年

Indian Political Intelligence Files, 1912-1950

独立への闘争と監視の影 - インド独立運動の裏側

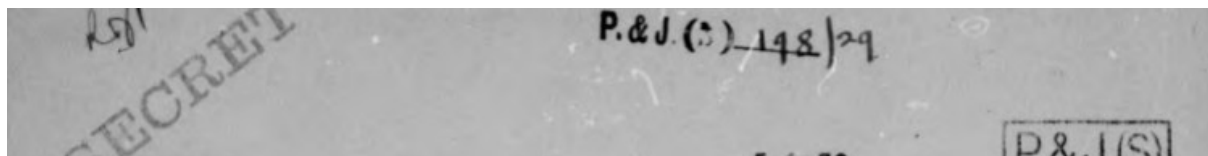
ロンドンのインド省内に設置された Indian Political Intelligence (IPI) は、英国のインド統治を弱体化させようとする反英活動を監視する組織でした。その記録の中には、約 1 世紀もの間封印されていたものもありましたが、1997 年に機密解除されました。これらのファイルは、英国植民地時代の革命運動を研究するための独自の一次資料となっており、インド史において特に動乱に満ちた時期の重要な証拠を提供します。



1900 年代初頭、インド国内の高まる不満と、英国在住のインド人による政治活動との間に密接なつながりが生まれつつありました。1905 年には、英国当局者に対する最初の爆破事件や暗殺がインドで発生し、それに続いてロンドン、パリ、北米にインド人の革命組織が誕生しました。1908 年、スコットランド・ヤードの特別捜査部は、英国内のインド人過激派を監視するよう命じられ、1909 年 7 月に「インド部門 (Indian Section)」を設立しました。

IPI は、インド警察の J.A. Wallinger がロンドンのインド省へ派遣されたことを契機に設立されました。その任務は、「イギリスおよびヨーロッパにおける反英の陰謀を監視し、インドの利益に影響を及ぼすものを把握する」ことでした。IPI は、インド省の公安・司法部門 (Public & Judicial Department) を通じてインド担当国務大臣 (Secretary of State for India) に報告を行い、またインド政府には内務省 (Home Department) の情報局を通じて情報を提供していました。

1939 年以降、IPI の監視対象は、ドイツ人、イタリア人、日本人の活動家にまで拡大されました。さまざまな独立運動団体も IPI によって潜入・監視され、その中には「インド国際委員会 (International Committee for India)」や「インド・リーグ (India League)」も含まれていました。そして 1947 年、インドの独立を受けて IPI は解散しました。



大学・学術機関向け

買い切り (Outright Purchase)・同時アクセス無制限

※大学・学術機関向け IP 接続・同時アクセス無制限でのご利用となります。

※Archive 買い切りの年間管理費 (Annual Hosting Fee) は不要です。

※正式な見積価格は最寄りの弊社まで別途ご用命ください。

トライアルも承ります!! 詳細お問い合わせは弊社まで

日本総代理店 **極東書店**

FAR EASTERN BOOKSELLERS
KYOKUTO SHOTEN LTD

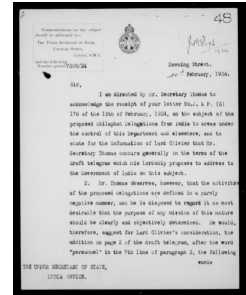
〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル
〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761
075(353)2093 FAX (353)2096
092(751)6956 FAX (741)0821

URL: <https://www.kyokuto-bk.co.jp>E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp

Indian Political Intelligence (IPI) のファイルには、英領インドに対する脅威と見なされた組織や個人の監視に関する、未公開の大量の資料が含まれています。これらの記録には、MI5、MI6、スコットランド・ヤード特別捜査部（Special Branch）による監視報告や通信傍受記録が含まれており、さらに多数の情報要約や政策文書も収録されています。IPI の活動の軸は反共産主義にありましたが、さまざまな民族主義運動の支持者も監視の対象となっていました。

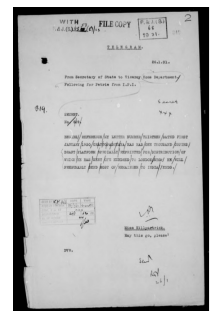
IPI は、当時の著名な活動家や政治家のほとんどについてファイルを保持しており、ガンディー、スバス・チャンドラ・ボース、ジャワハルラール・ネルー、V. J. パテルなどが含まれます。彼らの動向は綿密に記録され、書簡は検閲され、発行物は「扇動的な発言」がないか入念に調査されました。さらに、インドの検閲制度に関する 80 以上の個別ファイルも存在しています。



コレクションの特徴

IPI のファイルは、インド独立以前の革命運動や、それらの運動がイギリス、ヨーロッパ、ソ連、北米から受けた支援を研究するための重要な資料となっています。また、ロンドンにおいてこれらの運動がどのように認識され、評価されていたのかを明らかにします。また、政治活動家やさまざまな「反体制」運動に関する、これまで機密扱いとされていたデータが収録されています。これらのファイルは、秘密情報機関の活動を詳細に記録しており、イギリスの植民地支配（the Raj）最後の 50 年間における最大の関心事を明らかにしています。

収録文書の大部分は英語ですが、一部にはウルドゥー語やヒンディー語の資料も含まれています。



■文書のタイプ別に、全 17 セクションに整理されたアーカイブ

1. Indian Political Intelligence: organisation and personnel, 1912-1949
2. Islam and the Khilafat Movement, 1922-1927
3. Inter-Departmental Committee on Eastern Unrest, 1922-1927
4. Communism: Russia, 1922-1938
5. Communist Party of Great Britain, 1921-1948
6. Communism: India and Indian Communist Party, 1921-1950
7. Meerut Conspiracy Case, 1928-1933
8. Revolutionary and terrorist activities, 1914-1942
9. Control and censorship, 1918-1949
10. Indian National Congress, 1928-1947
11. League against Imperialism, 1925-1942
12. Other organisations and movements, 1921-1947
13. North America, 1912-1948
14. Axis Powers, 1924-1949
15. Other “country files”, 1921-1949
16. Personal files, 1916-1949
17. Miscellaneous reports and subjects, 1924-1949

